

延岡市まちづくり交付金評価委員会議事録

会議の名称	延岡市まちづくり交付金評価委員会		
地区の名称	中心市街地地区、川中地区		
事務局	都市建設部 都市計画課		
開催日時	平成20年12月12日(金)13:15～16:30		
開催場所	市役所2階 第2会議室		
出席者	委員	横山裕(委員長)、矢野公一(副委員長)、平林宏一	
	その他	(まちづくり交付金事業所管課) (区画整理課)片伯部係長、日高係長、松本係長(土木課)黒木主任技師 (企画課)高久係長、安田主任主事(児童家庭課)藤島係長(都市計画課)黒木係長	
	事務局	甲斐部長、池田課長、佐藤係長、森満主任技師	
公開の可否	公開	傍聴者数	1名
非公開・一部非公開の場合の理由			
審議の経過	<p>1. 開会(13:00～)</p> <p>2. 辞令交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞令を交付 <p>3. 延岡市挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 <p>4. 委員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 <p>5. 評価委員会設置要綱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より設置要綱について説明 ・趣旨、所掌事務、組織、任期などについて「設置要綱」書類により説明 <p>6. 座長の互選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員から委員長の立候補、推薦は無し ・事務局より、委員長・副委員長の推薦 ・委員長、副委員長承認 <p>7. 議事(資料については、パワーポイントにより説明。手元にも資料配付)</p> <p>議事1. 事後評価制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料の説明 ・まちづくり交付金の全体の事業評価の流れやその中における事後評価の位置づけ・目的・役割・実施時期などについて説明 <p>議事2. 該当地区におけるまちづくりの経緯説明 (中心市街地地区、川中地区の2地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料の説明 ・当初の都市再生整備計画について、課題・目標・事業などを説明 		

審議の経過

- ・当初の計画から変更された点について、追加した事業及び追加の理由、変更した指標と変更理由を説明
- ・事業前後の変化について写真を用いて説明

現地視察(13:45～15:00)

- ・中心市街地地区及び川中地区の事業現場を視察。
- ・各事業の現場を視察し、現在の状況を確認。
城山公園・北城山街区公園、岡富古川土地区画整理事業・多々良土地区画整理事業、岡富コミュニティセンター事業、まちなか子育て交流広場事業などの現場においては、担当課より事業内容について説明が行われた。

議事3. 事後評価手続き等にかかる審議(15:05～)

(中心市街地地区、川中地区の2地区)

- ・事務局より資料の説明
- ・方法書で設定した指標及び評価値の求め方、成果の評価について説明
- ・目標値の達成について、その達成度、達成度の理由、追加したその他の指標、その他の指標を追加した理由について説明
- ・効果発現の要因について目標を達成したもの、目標を達成できなかったものについて、それぞれの各事業の貢献度なども含め説明
- ・その他定量的に表現できない定性的な効果についても説明
- ・事後評価原案の公表方法・期間・結果について説明

議事4. 今後のまちづくりについての審議

(中心市街地地区、川中地区の2地区)

- ・事務局より資料の説明
- ・今後のまちづくり方策を検討した検討組織を説明
- ・今後のまちづくり交付金の活用予定や次期計画、事後評価を予定している地区について説明
- ・今回の事後評価のフォローアップ計画について説明

議事5. 次期計画についての審議

(中心市街地地区、川中地区の2地区)

- ・事務局より資料の説明
- ・次期計画の基本的な考え方、計画区域、課題、目標について説明

審議

委員

事務局が説明した内容につきましてご意見があればお願いします。まず、全体的な感想をお願いします。

委員

岡富古川地区の災害による浸水は、非常に困った問題であったが、交付金により改善されているということは非常に良いことであると感じられました。

審議の経過 委員	説明や現地視察を受け、街路などハード的な事業は完了という形になっているが、来街者数や来園者数などのソフトに関連する部分が目標に達していない部分があったと思います。それを次期の目標という形で案が出されており、概ねそのような方向で良いと思います。全体の事業として概ね良い方向へ進んでいると思います。
委員	中心市街地地区も川中地区も小さい頃からよく知っている場所ですが、子供のころからすると最近は目に見えて整備がされ、非常に便利になって住みやすいまちになってきています。このような事業は延岡市にとって有意義な事業であると思います。
委員	個別の指標ではなく、指標全体としての達成度はどの程度だと考えていますか。
事務局	当初設定していた6つの指標のうち、3つは達成、1つは効果が見られているという状況です。これにその他指標の3つを加えると、7/9程度は達成していると考えています。
委員	川中地区はどうか。
事務局	その他の指標も含めると4/5程度であり、達成していない指標も効果が見られ始めているという状況ですので、殆ど100%に近い達成率と考えています。
委員	それであれば、2地区で12/14ということで90%近い達成率ですので、非常に良い結果だと思います。どなたか他にありますか。
委員	市民スポーツの振興やアスリートタウンづくりのために、バリアフリー化などを促進しているということですが、市民体育館や西階の陸上競技場についても老朽化が進んでいるため、その計画があればお聞きしたい。 今、ベガルタ仙台がキャンプにきていますが、それ以外のJ1J2のチームで、昨年オファーがあったが、施設が不足しているということで断ったということも聞いています。 是非、アスリートタウンの一環として、延岡市がそのような面に進んでいけると良いと考えています。(西階地区を宮崎でいう木花の総合運動公園のように)
事務局	まちづくり交付金は、どちらかというと基盤整備ということで、道路・公園・区画整理事業という基幹事業を位置づけ、インフラ整備とまちづくりを絡めながら、ソフト事業を含めてやっていくかということになります。国土交通省の制度事業という事もあります。 ご意見のあった箱物整備も可能ですが、市民体育館や西階陸上競技場の改修は、保健体育課・企画課の方でアスリートタウンの振興計画を作っていますので、全庁的な中で方針が決められることです。 そこで決まった事業に対して、まちづくり交付金を活用するかは、その後の協議の中で決まっていくものと考えております。 施設の改修については、市民やJCさんからの要望もあるため、今後の大きな課題の1つであるという認識の基で、今検討を進めているところです。
委員	特別どこについてということはありません。 あとは、岡富古川地区の区画整理事業などについて、出来るだけ早期に完了して欲しいと思います。延岡の経済波及効果の面でも区画整理事業というのは貢献すると思います。
担当課 (区画整理課)	おっしゃるとおり区画整理事業は経済波及効果が約20倍と言われている事業ですので、なるべく早期に完成したいと考えております。

委員	<p>事後評価原案の公表に関して、HPと縦覧という形で2週間の期間をとっておこなっているのは、とても大切に評価できることだと思います。</p> <p>その結果、住民の意見がなしということについて、高い目標達成率であり、目に見えて町が良くなっていることについて、心の中で思っている、あえて意見としては出てにくい部分がある(クレームだったら出てくるが)と思います。</p> <p>出来れば、意見無しというのは悲しいものがあるので、サイレントな意見を吸い上げるためには、例えばまちなかコミュニティセンターの利用者の意見を聞いた方がより良い意見が出てくるかもしれないと思います。</p>
事務局	<p>意見無しと言うことは、原案を公表はしたが、見て直ぐ分かるということというのは難しかったのではないかと思います。ある程度説明をして理解していただかないと、意見を反映させることは難しいと思います。</p> <p>今回は、まちづくり交付金の手順が決まっており、その手順に従い進めたところではありますが、ご指摘された住民の意見は事業を評価し・組み立てるPDCAの中で重要なことだと思いますので、サイレントな方達の意見も何らかの方法で反映できるように考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>アーケードのイベント開催回数は年に11回となっていますが、この程度の回数ですか。</p>
事務局	<p>昨年度が5件で、今年度は11件で倍以上ということになっています。これは1つのイベントに対し1回と数えており、延べ日数ではありません。</p> <p>これ以外にも行われているようですが、9月1日現在でのイベント数で、それ以降のものは挙げていません。</p>
委員	<p>西階通線のバリアフリーについて、もっと前後の区間も進めて欲しいと感じました。</p>
担当課 (土木課)	<p>今後も交付金等の事業で進めていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>5年間の中で実施したのはあの区間だけですが、次期計画の中で交付金事業を使えば、バリアフリー事業は継続していきたいと考えています。</p>
委員	<p>岡富中学校前の電線の地中化をしたところは着工前後で劇的に景観が良くなっているため、都市景観の向上のためにも非常によいと思いました。今後も出来るところがあれば進めた方がよいと思います。</p>
担当課 (都市計画課)	<p>無電柱化の件に関しましては、ガスや電気などにも負担金を貰わないといけなため、行政だけで進めることは出来ません。多くの事業費がかかることとなります。</p>
事務局	<p>行政だけで進められるものではなく、電気やガス事業者などが負担できるのかということもあります。本小路通線だけは行政の負担を多くし実施したところがありますので、中々厳しいものがあります。</p> <p>但し、実施すれば景観上も素晴らしいため、検討はしていないといけないと思います。</p>
委員	<p>野田地区の土地区画整理事業地区について、現地を見たときに空地がありました。その、空地を埋める予定とかその方策などをお聞きしたい。</p>

<p>担当課 (区画整理課)</p>	<p>区画整理事業の場合には、保留地を処分して事業費を賄うのですが、野田の場合には保留地は全て売れている状況です。あとは買った人が家を建ててくれるのをお待ちすることになります。 保留地を処分するにあたっては、新聞に載せたりなど色々なメディアに対してPRを今もやっています。岡富古川地区についても、今後保留地が出来る段階になりましたらそのような保留地の売却を進めて、新規着工件数を増やしたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>次に次期計画についてご意見があればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>目標の2に関して、道路は全部開通して初めて道路として活けると考えています。岡富地区の西環状線は、別府のところを除いてと説明を受けましたが、その見通しはどうなっていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>西環状線の愛宕通線の別府工区については未着工ですが、西環状線の一部ですので是非早く着工したいと考えていますが、現在、須崎中川原線の大門工区の道路改良に取り組んでおりまして、これを1年でも早く整備をしたいと考えております。その次は別府工区を整備をしたいと考えております。一度に両工区ともすることは財政的に対応が厳しいものがありますので、そのように考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>それはまちづくり交付金で出来るのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>色々な制度事業がありますが、大門工区もまちづくり交付金を使っておりますので、別府工区についてもより有利な制度事業を使おうと考えております。また市の裁量で出来る制度事業を使っていこうということで、まちづくり交付金が継続すれば、1つの活用事業になると考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>具体的な事業プランがあればお聞かせいただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今の予定では、岡富古川地区の区画整理事業、多々良地区の区画整理事業、道路は須崎中川原線の継続事業、野田通線のバリアフリー化、公園は城山公園の園路の整備、その他に長浜集会場関係の整備及び隣接する公園の整備などです。あと方財町の道路に関しては、冠水対策として道路の嵩上げを予定しております。概ね以上のような事業を予定しております。</p>
<p>委員</p>	<p>道路は整備されているが、それに伴って植樹や樹木の移植などを進め、人工的なものだけでなく、自然のものも目に触れる、景観的に良いまちづくりを進めて欲しいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>植樹については、今後も須崎中川原線や別府工区を実施していく上で、延岡市は道路の植樹が少ないため、大きな道路を造るときには植樹をしたり、花いっぱい運動により市民協働で緑化を進めるなど、ハード整備事業と併せソフト事業を実施し、出来るだけ市街地に緑が多くなるようにしていきたいと考えております。</p>

委員	<p>次期計画の文言の中にエコの視点を入れて欲しいと思います。「誰もが安心・快適に住み続けられる居住環境」というのは、自分たち人間のことだけではなく、地球の環境も考えた上で快適ということで、快適という言葉の中にその意味が入っているとは思いますが、「環境に優しい」という分かりやすい言葉により、その視点を持ってまちづくりをすると言うことをアピールした方がよいと思います。</p> <p>ハード整備にあたって、使っていく地域の住民がエコに対する気付きがあるような整備が良いと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりであり、大目標で挙げている「持続可能な」という言葉の中には「環境に優しい」という言葉の要素は含まれてくるものだと考えております。</p> <p>具体的に「環境に優しい」という言葉を入れるかどうかについては、事務局の方で調整させていただきたいと考えております。</p>
委員	<p>全体的なまとめについて、それぞれの委員にお願いします。</p>
委員	<p>それぞれの地区のそれぞれの事業がとても良い事業であり、まちづくり交付金が有効に使われていると感じました。また延岡市がより良くなっていくために、今後も良い意見が出せればと思います。私自身も勉強しながら、今後のまちづくりに貢献できるようにがんばっていききたいと思います。</p>
委員	<p>今日は、まちづくり交付金ということで、今まではこのような使われ方をしていると知りませんでした。交付金という形で延岡市の独自の使い方が出来る、またまちづくりの良い方に活用できるということで、非常に良い制度だと思います。</p> <p>これを活用していくことで、より良い生活環境が作れるということですので、良い制度だと思います。これからまちづくりに頑張って活用して欲しいと思います。</p>
委員	<p>平林委員、矢野副委員長が話されたとおりだと思いますので、特に付け加えることはありません。地域住民としては、それがどこからお金が出てきたかは意識していません。このような事業は黒子的で大々的な評価はされないと思いますが、しっかりとこのような事業を利用していくと、そこに住む市民の暮らしは豊かに快適になっていくということですから、このような事業をしっかりと進めていただきたいと思います。今回のまちづくり交付金の成果が上がっていることが確認できたことは嬉しく思います。これからまたこのような事業があると思いますが、しっかりと活用されて延岡の町がより良くなっていくことを期待しています。</p>
事務局	<p>色々ご指摘ありがとうございます。最後にこれからのスケジュールを説明させていただきます。</p>
事務局	<p>事後評価シートの最後のとりまとめを、12月19日に国へ提出したいと考えております。</p> <p>評価結果の公表につきましては、議事録を取りまとめた上で、広報及び新聞記事等での周知後、市のホームページで公表する予定にしております。</p> <p>公表につきましては、平成21年3月から1年間公表する予定にしております。</p>
事務局	<p>本日は午後1時から長時間にわたり、また現地視察をしていただきありがとうございました。公共事業につきましては、PDCAサイクルにより市民の評価を受けながら進めなさいと言うことが一般的になってきております。まちづくり交付金事業だけではなく、色々な面で事務事業の評価は出てきていますが、特にこのまちづくり交付金は、評価の仕組みが制度事業の中に組み込まれていますので、代表して3人の方に意見を承りました。</p> <p>市としても貴重なご意見を次の計画に活かしていくことが、この委員会の意義にも繋がると思いますので、今後ともお気づきの点があれば、また是非ご意見をいただければと思います。</p> <p>本日は長い間ありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして委員会を終了したいと思います。</p>



評価委員会
(審議状況)



評価委員会
(現地視察状況)



評価委員会
(審議状況)